

## 平成29年度公開臨海・臨湖・センター実習 実施計画書

|  |   |  |   |
|--|---|--|---|
| 実習タイトル   |   | 大学公開実習 D（古生物学・地層学 II）  |   |
| 実習内容   |   |  |   |
| <p>（1）野外（御所浦島・天草上島）で地層の見方や大型化石の産状を観察する。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・5000 万年前に堆積した弥勒層群で干潟～浅海の堆積相や二枚貝・巻貝化石の観察。1 億～8300 万年前に堆積した姫浦層群および御所浦層群で内湾～深海の堆積相やアンモナイト，イノセラムス，および生痕化石の観察。</li></ul> <p>（2）室内で化石や地層の講義を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・化石のクリーニング方法や化石のスケッチを行う。</li><li>・微化石の抽出法と同定法，示準化石・示相化石としての重要な微化石について学ぶ。電子顕微鏡（SEM）を用いて，微化石の観察を行う。</li></ul> <p>（3）現生の干潟（永浦干潟）での動物の観察を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・干潟に生息するカニ，貝類，環形動物の行動観察や生態観察，巣穴等の観察を行う。</li><li>・5000 万年前の貝化石や生痕化石との比較，化石として残る情報量について議論する。</li></ul> <p>※ 野外実験・室内実験の合間には，ウミホタルやミナミバンドウイルカなどの生態観察も行う予定である。天候などにより変更あり（詳細はホームページを参考）</p> |   |  |   |
| 実習内容キーワード  |   | アンモナイト，白亜紀，古第三紀，地層，化石，博物館  |   |
| 担当教員氏名・所属・役職名  |   | 逸見泰久・熊本大学沿岸域環境科学教育研究センター・教授<br>嶋永元裕・熊本大学沿岸域環境科学教育研究センター・准教授<br>田中源吾・熊本大学沿岸域環境科学教育研究センター・特任准教授<br>竹下文雄・熊本大学沿岸域環境科学教育研究センター・特任助教 |   |
| 協力教員氏名・所属・役職名  |   | 廣瀬浩司・天草市立御所浦白亜紀資料館・参与<br>小松俊文・熊本大学・准教授   |   |
| 対象学生・学年  |   | 学部 1～3 年生  | 開講期間<br>平成 30 年 3 月 1 日～3 月 7 日               |
| 開講大学・施設名   |   | 熊本大学沿岸域環境科学教育研究センター・合津マリンステーション  |   |
| 施設の住所  |   | 〒861-6102 熊本県上天草市松島町合津 6061  |   |
| 電話   | 0969-56-0277  |  | F a x<br>0969-56-3740                         |
| e-mail   | henmi@gpo.kumamoto-u.ac.jp  |  | Web Site<br>http://www.geocities.jp/henmiy21/ |
| 交通案内   | 熊本市内の交通センター，または J R 熊本駅前から，天草（本渡）行きのバス（あまくさ号）に乗車し「前島」下車。徒歩 5 分。あまくさ号は 1 時間または 30 分間隔で運行。熊本駅前から約 1 時間半。空港からは，交通センターで乗り換える。 |  |   |
| 費用   | 8,000 円程度（食費・宿泊費など）   |  |   |
| 授業科目名  |   | 臨海実習 II  |   |
| 単位数  |   | 2 単位   | 定員数<br>12 名                                   |
| 授業料の徴収について   |   | 公私立大学の学生で，単位取得を希望する学生は，授業料を徴収。   |   |
| 受講生選抜基準と申し込み締め切り   |   | 先着順。締切は平成 30 年 2 月 16 日。定員に達しない場合は，追加募集を行う。参加申込時に合津マリンステーションにも上記の電子メールアドレスで連絡をすること（事前連絡などに使用）。                                 |   |
| 選抜結果連絡法  |   | 所属大学事務へ通知（通知前の上記メールへの問い合わせも可）  |   |